

# 資料渉猟余話

その151

南信州地域資料センターに寄贈している。

ただいた書籍の中からは、発行者 森本州ら、市村威人著『伊那尊王思想史』を見つけた。しかも昭和四年のいわゆる初版本。自分のように、古書店で戦後の復刻本を高価な値で購入した者には、垂涎の書である。復刻本も中身はそっくりコピー版を使っているのだが、初版本は、表紙と奥付が違ふ。そこに、経過してきた時間の重みを感じ

依頼したのだろう。藤村もその一人のよつながった。ところで、この『伊那尊王思想史』の出版後であり、藤村は資料としてこの本を使っていたようだ。

依頼したのだろう。藤村もその一人のよつながった。ところで、この『伊那尊王思想史』の出版後であり、藤村は資料としてこの本を使っていたようだ。

表は昭和四年から十年。『伊那尊王思想史』の出版後であり、藤村は資料としてこの本を使っていたようだ。

## 市村威人『伊那尊王思想史』と島崎藤村『夜明け前』

竹村 雄次

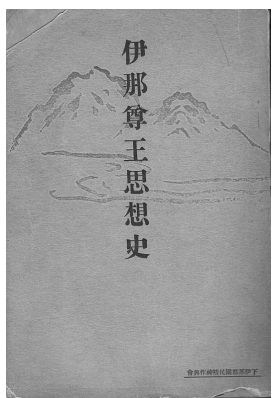
高嶺と言われている、六年続く会で、確か、よくぞ調べたもの、と感心する。これを超える研究はなかなか難しと思う。当然、発行者の森本州平は伯父、甥の關係。州平が伯父に表紙絵を

高嶺と言われている、六年続く会で、確か、よくぞ調べたもの、と感心する。これを超える研究はなかなか難しと思う。当然、発行者の森本州平は伯父、甥の關係。州平が伯父に表紙絵を

高嶺と言われている、六年続く会で、確か、よくぞ調べたもの、と感心する。これを超える研究はなかなか難しと思う。当然、発行者の森本州平は伯父、甥の關係。州平が伯父に表紙絵を

高嶺と言われている、六年続く会で、確か、よくぞ調べたもの、と感心する。これを超える研究はなかなか難しと思う。当然、発行者の森本州平は伯父、甥の關係。州平が伯父に表紙絵を

高嶺と言われている、六年続く会で、確か、よくぞ調べたもの、と感心する。これを超える研究はなかなか難しと思う。当然、発行者の森本州平は伯父、甥の關係。州平が伯父に表紙絵を



『伊那尊王思想史』初版本表紙と408頁の口絵(南信州地域資料センター蔵)

的確な写生である。

ちなみに、写真の安東が参加していた飯田藩軍は『伊那尊王思想史』409頁に「奥州より越後・津川・新発田・村松・長岡・小千谷・飯山・善光寺・松本を経て、十一月十七日飯田城に帰着解隊した」とあった。どうも、この松下千里と飯田藩軍は行動を共にしていたようだ。

このように『夜明け前』から、『伊那尊王思想史』の影響を探すというのも、楽しい読み方である。

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け

しを見せ(傍線は著者)とある。これは『伊那尊王思想史』にある、飯田藩士、安東欽一郎の写真を

見事に描写している。さすがに文豪、

きた人がある。尖った三角がたの軍帽を冠り、背囊を標掛け